



桜の里／三井恵美子・画

IMAGINE ROTARY 多様性 公平さ あらゆる人を歓迎、尊敬

2022～2023年度 R.I.会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2620地区ガバナー 浅原諒藏

2023.6.16 第2088回例会 No.2088

会長挨拶

先日、青少年交換研修で新潟市を訪れた時のこと。美味しいお酒やご馳走に、さすが新潟だなあと感心した懇親会で披露された芸者衆は、質量共に充実していました。かつて最盛期には約400人の芸妓が活動していた新潟の古町は、祇園と新橋と並んでメッカであったとのこと。また、以前は人口も日本で一位だった事実を知り、更に驚きました。町が栄えれば花街(かがい)も栄えます。そこで、新潟が栄えた理由や、人口一位の推移について調べてみました。人口統計がはじまった1872年の人口1位は、江戸時代から行政首都であった東京ではなく【広島県】でした。その翌年1873年は【愛知県】に入れ替わりました。1874年～76年は【新潟県】が1位に躍り出ます。理由は、稻作に適した気候と、海運全盛期に主要の流通手段だった「北前船(きたまえぶね)」の拠点だったことが理由です。更に、1877年には同じ日本海側から【石川県】が1位に登場します。「日本海側」の県は仏教が強く信じられた地域のため、口減らしのために日本の多くの農村で行われた「間引き」や「身売り」が非常に少なかったことも、人口増加要因のようです。以降は、【新潟県】 【大阪府】 【新



Ito West R.C. Weekly

R.I. 第2620地区 静岡第1グループ



伊東西

会長 稲葉雅之 副会長 市川正樹
幹事 久保田英二

例会場 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ボウル2F
例会日 毎週(金曜日) TEL 0557-37-1512
事務所 伊東市竹の内1-3-16 暖香園ボウル内
TEL・FAX 0557-37-0036
ホームページ <http://itowest.rcy.jp>

出席報告

	会員数	出席規定該当者	出席者	欠席者	M. U	出席率
本日	47	46	32	15		69.5%

潟県】と入れ替わります。そして1897年からやっと【東京都】になり、疎開による人口減少の1945年を除いては、今日までずっと一位を続けています。昭和になって、次第に工業化の進んだ東京や大阪へやむを得ず流出していく「日本海側」の労働者たち。しかし彼らは、持ち前の粘り強さを生かして、銭湯経営を始めるなど、現在まで様々な分野で活躍しているドラマチックな歴史があります。かつて栄えた古町通りを一人歩きながら、当時の新潟の盛衰に想いを馳せました。

本日の欠席者

市川正樹君 西澤洋一君 古谷隆憲君 原幸男君
勝又隆男君 野村玲三君 佐藤周君 土屋順史君
山本佳洋君 堀口武彦君 磯村英一君 斎藤正就君
梶原幹人君

幹事報告

- 6月29日のクラブ協議会及び懇親会ですが、現在42名の参加となっています。6月27日までは変更が可能なので、急用等で出席できなくなつた時は事務局までご連絡ください。
- 米山梅吉記念館より1人100円募金のお願いがきました。理事会にて検討した結果会費より会員数×100円を支援することにしました、よろしくお願いします。
- 理事会にてクラブ細則の一部を現状に沿う形に変更することを検討し決定しました。変更案を明日事務局連絡網にて送りますので内容を検討していただき6月29日の例会にて審議したいと思います。よろしくお願いします。

地球にやさしい再生紙を使用致しております

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

- 本日例会後例会場にて臨時理事会を開催します。よろしくお願ひします。
- 5月28日に開催されました伊東市ゴミ0運動に参加されたメンバーです。西クラブを代表しての参加、本当にお疲れ様でした！



会員慶事

○皆出席おめでとう

6月 稲葉 衛君 44年

立木 泰君 29年

5月 古谷隆憲君 1年

○会員誕生日おめでとう

野村玲三君 6月

稻葉雅之君 6月

堀野泰司君 6月

齊藤 洋君 6月

○配偶者誕生日おめでとう

梶原幹人君 明美様

6月 石川和正君 直美様

6月 稲葉憲一君 真木子様 6月



スマイルボックス

皆出席 稲葉 衛君 44年

立木 泰君 29年

田邊 喜義君 月曜日にシャムレッフェルさんと明治座へ芝居を観に行きました。

田邊 文保君 今日は沼田渉さんの卓話楽しみです。頑張って！

沼田 渉君 久々の卓話です。人前に立つ事、人前で話す事、苦手です。ヨロシクお願いします。

稻葉 雅之君 良い天気！良い例会！良い週末を！

村上 恵宏君 先日初めてのコース、西富士ゴルフ場へ杉本さん、下村さん、鈴木喜代志さんと一緒に楽しんで来ました。ありがとうございました。

石井 幸弘君 13日知人に東京銀座で、お鮓と高

級クラブでおごって頂きました。ただ酒がこんなに美味しいと思ったことはありませんでした。

卓話

担当 沼田 渉君

本の行方？

先月、郷土史家、加藤清志先生の「しのぶ会」がありました。昭和40年代自分は新人の書店人として毎日が大変な頃でした。その後「サガミヤ選書19冊」を発行していますが、その選書の内6冊は先生に執筆して頂き大変お世話になりました。先生はいつも読者に少しでも解りやすく、読みやすい本にと一貫して努めておりました。私は郷土の発展は郷土を知ることにより郷土愛を育むことが大切と常々思っていましたので、郷土関係本の出版に特化してきました。勿論、教育委員会や図書館、個人的にも郷土関係の本が発行されています。これらの本がより多くの市民の方々の手にして頂ければ地域の発展、子供たちの郷土愛を育くむ事も出来ると今でも確信しています。3年前第一線から退いたが以前より思う事があり、今新たな業態書店の準備をしています。それは皆さんの蔵書を資源ゴミに出さないで欲しいという事です。個々の選んだ大切な本に第2の活躍の場を創ろうと考えています。特に郷土史関係の書物は市町村で出版の場合、ISBNコードやバーコードは明記されていません。金額の明示もありません。よって書店では頒布価格として明示しています。自費出版の場合も明示されていない事がが多い気がします。大手の古本屋・ブックオフなどでは買取もしません。膨大な出版物の管理が機器でできない為です。しかし、そのような本のなかに貴重な出版物が見られる事が多々あります。自分が選び求めた大切な本が資源ゴミや目方で処理される事など私には許せない思いが強くあります。市役所も毎月2回古紙収集日があります。そこに出版物が紐で縛られて出されていますが、せめて古本屋に持ち込めば金額はともかく買い取ってもらえると思います。その本は第2の活躍の場を得る事になります。新たな市場価格で流通する事となります。趣味娯楽の本も含め必ず喜んで求めてくれる読者が居ります。是非、皆さんの愛読書が目方で処理されないよう願っています。（以下略）

